



# 陸上自衛隊第1ヘリコプター団

## 1st Helicopter Brigade

### 第1ヘリ団と木更津駐屯地の歩み



連絡偵察飛行隊新編 (H18) 特別輸送飛行隊新編 (S61)

### 木更津駐屯地の概要

木更津駐屯地は昭和11年に木更津海軍航空隊の創設により航空基地として運用を開始。終戦後は米軍の航空基地として使用していたが、昭和33年、航空自衛隊が移駐し木更津基地としてしばらく米軍と共同で使用していた。昭和42年10月木更津駐屯地開設の準備が開始され、昭和43年3月「第1ヘリコプター団」が移駐し、陸上自衛隊の管轄となり木更津駐屯地が誕生した。

### 駐屯地全景



昭和22年時の木更津駐屯地



木更津海軍航空隊 開設 (昭和11年)

### 災害派遣



栃木県足利市山林火災 (R3) 御嶽山噴火 (H26) 東日本大震災 (H23) 日航機墜落事故 (S60) 羽田沖日航機墜落事故 (S57)

### 各種訓練



海上自衛隊との協同訓練 ビックレスキュー (H13) 航空機操縦訓練

### 民生協力



木更津トライアスロン大会支援 「永遠のゼロ」撮影支援 (H27) 木更津港祭り 木更津駐屯地創立記念行事・航空祭 アクアラインマラソン大会

### 国家行事



沖縄現金輸送 (S47) 総理大臣空輸 伊勢志摩サミット (H28) 昭和天皇行幸 (S62)



輸送航空隊新編 (R2) 第102飛行隊新編 (H20) 第1輸送ヘリコプター群新編 (H20) 特別輸送ヘリコプター隊新編 (H20) CRF編成完了 (H19)

昭和11年4月 木更津海軍航空隊発足

昭和20年8月 終戦

昭和20年9月 米海軍及び陸軍(空軍)が進駐

昭和33年10月 航空自衛隊輸送航空団移駐

昭和36年4月 米空軍 立川基地へ移駐

昭和37年10月 海上自衛隊木更津航空補給処新編

昭和42年10月 第1ヘリコプター団編成準備室発足 (霞ヶ浦駐屯地)

昭和42年11月 木更津先遣隊が編成

**昭和43年3月 第1ヘリコプター団新編**

(旧第1ヘリコプター隊 第301ヘリコプター野整備隊を母体として編成)

霞ヶ浦飛行場で編成完了式

団本部・本部管理中隊・第1ヘリコプター隊が霞ヶ浦より移駐

**木更津駐屯地開設**

昭和43年5月 航空自衛隊 入間基地へ移駐

昭和43年6月 第2ヘリコプター隊第1飛行隊・第1ヘリコプター野整備隊移駐

昭和44年8月 第2ヘリコプター隊第2飛行隊移駐。第1ヘリ団の移駐完了

昭和47年3月 米海軍撤退

昭和49年8月 木更津駐屯地地務隊新設

昭和50年3月 V-107×40機態勢完了

本部管理中隊、連絡偵察機等装備に伴う改編

昭和61年12月 第1ヘリコプター団改編

(特別輸送飛行隊新編)

平成4年3月 東部方面航空隊第4対戦車ヘリコプター隊新編

平成7年3月 団主力機種をCH-47J×32機態勢に改編

平成18年3月 第1ヘリコプター団改編 (連絡偵察飛行隊新編)

平成19年3月 中央即応集団隷下に編成

平成20年3月 第1ヘリコプター団改編

(第1・第2ヘリコプター隊を廃止し第1輸送ヘリコプター群新編・特別輸送飛行隊が特別輸送ヘリコプター隊へ改編・第102飛行隊新編)

平成30年3月 木更津駐屯地50周年 中央即応集団が廃止され 陸上総隊新編 陸上総隊隷下部隊に 第1ヘリコプター団改編 (輸送航空隊新編)

令和2年3月 第1ヘリコプター団改編 (輸送航空隊新編)

### 所属航空機

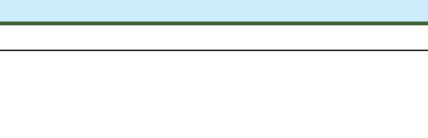
▶CH-47JA  
乗員：3名(パイロット×2、機上整備員×1)+55名  
巡航速度：時速約270km  
航続距離：約1040km



▶EC-225LP  
乗員：2名(パイロット×2)+20名  
巡航速度：時速約280km



▶UH-60JA  
乗員：2名(パイロット×2)+12名  
巡航速度：時速約240km  
航続距離：約470km



◀V-22  
乗員：3名(パイロット×2、機上整備員×1)+24名  
巡航速度：時速約465km  
航続距離：約2600km



◀LR-2  
乗員：2名(パイロット×2)+8名  
巡航速度：時速約440km  
航続距離：約2900km



### V-22 配備状況

#### 輸送航空隊とは

陸上自衛隊唯一のV-22保有部隊として令和2年3月に発足、V-22の能力を最大限発揮し、水陸機動団等の部隊展開を支援する部隊



輸送航空隊旗授与式

#### これまでの歩み

- 平成31年3月26日 (朝霞駐屯地)臨時教育隊編成完了式
- 令和2年3月25日 (朝霞駐屯地)臨時教育隊廃止式
- 令和2年3月26日 (木更津駐屯地)輸送航空隊編成完了式
- 令和2年7月10日 1機目(1705号機)到着
- 令和2年7月16日 2機目(1701号機)到着
- 令和2年11月3日 訓練開始式典
- 令和2年11月6日 V-22初飛行(ホバリング)
- 令和2年11月20日 V-22初飛行(場外飛行)
- 令和3年2月24日 3機目(1704号機)到着
- 令和3年3月23日 4機目(1702号機)到着
- 令和3年4月6日 5機目(1707号機)到着
- 令和3年4月16日 6機目(1708号機)到着
- 令和3年5月7日 7機目(1703号機)到着

#### 木更津駐屯地あるある

- ・駐屯地内に戦時中に造られた航空機格納用の掩壕があり、航空機の形に象られている。
- ・進駐軍時代に建造したチャペルが現在も残っている。
- ・飛行場なのにクレーン地区と呼ばれる港がある。
- ・現在の正門の前に海軍時代の正門がある。

#### これまでの歩み

- 平成31年3月26日 (朝霞駐屯地)臨時教育隊編成完了式
- 令和2年3月25日 (朝霞駐屯地)臨時教育隊廃止式
- 令和2年3月26日 (木更津駐屯地)輸送航空隊編成完了式
- 令和2年7月10日 1機目(1705号機)到着
- 令和2年7月16日 2機目(1701号機)到着
- 令和2年11月3日 訓練開始式典
- 令和2年11月6日 V-22初飛行(ホバリング)
- 令和2年11月20日 V-22初飛行(場外飛行)
- 令和3年2月24日 3機目(1704号機)到着
- 令和3年3月23日 4機目(1702号機)到着
- 令和3年4月6日 5機目(1707号機)到着
- 令和3年4月16日 6機目(1708号機)到着
- 令和3年5月7日 7機目(1703号機)到着



V-22飛行開始式典 令和2年11月3日

#### これまでの歩み

- 昭和11年4月 木更津海軍航空隊発足
- 昭和20年8月 終戦
- 昭和20年9月 米海軍及び陸軍(空軍)が進駐
- 昭和33年10月 航空自衛隊輸送航空団移駐
- 昭和36年4月 米空軍 立川基地へ移駐
- 昭和37年10月 海上自衛隊木更津航空補給処新編
- 昭和42年10月 第1ヘリコプター団編成準備室発足 (霞ヶ浦駐屯地)
- 昭和42年11月 木更津先遣隊が編成
- 昭和43年3月 第1ヘリコプター団新編**
- (旧第1ヘリコプター隊 第301ヘリコプター野整備隊を母体として編成)
- 霞ヶ浦飛行場で編成完了式
- 団本部・本部管理中隊・第1ヘリコプター隊が霞ヶ浦より移駐
- 木更津駐屯地開設**
- 昭和43年5月 航空自衛隊 入間基地へ移駐
- 昭和43年6月 第2ヘリコプター隊第1飛行隊・第1ヘリコプター野整備隊移駐
- 昭和44年8月 第2ヘリコプター隊第2飛行隊移駐。第1ヘリ団の移駐完了
- 昭和47年3月 米海軍撤退
- 昭和49年8月 木更津駐屯地地務隊新設
- 昭和50年3月 V-107×40機態勢完了
- 本部管理中隊、連絡偵察機等装備に伴う改編
- 昭和61年12月 第1ヘリコプター団改編
- (特別輸送飛行隊新編)
- 平成4年3月 東部方面航空隊第4対戦車ヘリコプター隊新編
- 平成7年3月 団主力機種をCH-47J×32機態勢に改編
- 平成18年3月 第1ヘリコプター団改編 (連絡偵察飛行隊新編)
- 平成19年3月 中央即応集団隷下に編成
- 平成20年3月 第1ヘリコプター団改編
- (第1・第2ヘリコプター隊を廃止し第1輸送ヘリコプター群新編・特別輸送飛行隊が特別輸送ヘリコプター隊へ改編・第102飛行隊新編)
- 平成30年3月 木更津駐屯地50周年 中央即応集団が廃止され 陸上総隊新編 陸上総隊隷下部隊に 第1ヘリコプター団改編 (輸送航空隊新編)
- 令和2年3月 第1ヘリコプター団改編 (輸送航空隊新編)



飛行開始式



戦時中に造られた航空機格納用の掩壕

### 第1ヘリコプター団とは

千葉県木更津市の木更津駐屯地に所在している陸上総隊の隷下部隊である。昭和42年10月、霞ヶ浦駐屯地に「第1ヘリコプター団編成準備室」が発足。昭和43年3月1日、霞ヶ浦飛行場で「第1ヘリコプター団」の編成完了式が行われた。当時の保有航空機は、H-19×11機、HU-1B×6機、V-44×2機、V-107×16機だった。平成19年3月、防衛大臣直轄部隊から中央即応集団新編により隷下部隊に編成。平成30年3月、中央即応集団が廃止され新たに陸上総隊が新編、その隷下に編成された。令和2年3月、輸送航空隊が新編され、V-22を装備することになった。

### 第1ヘリコプター団



- 第一ヘリコプター団本部
- 本部管理中隊
- 第一輸送ヘリコプター群
- 輸送航空隊
- 特別輸送ヘリコプター隊
- 連絡偵察飛行隊
- 第一〇二飛行隊
- 第一ヘリコプター野整備隊